

業 務 概 要

—令和4年度のまとめ—

項 目		頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）	3
	利用者等の状況	3
	館蔵資料の収集・所蔵状況	4
3	京都学研究推進の主な取組	5
	海外若手研究員受入事業	5
	京都学デジタル資料閲覧	5
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	6
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	8
5	大・小ホール・学習室について	20
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	21
7	館蔵資料等の撮影と複写	28
8	資料の貸与	29
9	図書館間相互貸出	34
10	共催事業等	34
11	資料の収集・整理・保存	37
	図書資料	38
	行政文書	43
	文書の保存と複製資料の作成	43
	管理委託現物資料	44
12	調査	45
	行政文書	45
13	京都府行政文書修理事業	45
14	図書館実習・インターンシップ	45
15	新聞掲載等	46
16	ウェブ提供サービスのまとめ	47
17	施設の状況	50
18	組織・職員数・業務分担・予算	50
19	令和4年度の主な活動	52
20	沿革	54
	参考資料	60

1 京都学・歴彩館について

○「京都学・歴彩館」とは

「京都学・歴彩館」は府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集して、保存し、さらに公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため設置された。京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学ととらえ、これを推進・発信することで京都文化のさらなる発展を目指すことを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ち続け、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

○京都学・歴彩館の建物について

建物は、京都府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっている。1階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、にぎわいと交流が生まれることを期待している。2階は探究フロアとして京都に関する各種資料や大学所蔵資料が閲覧できるよう約350席を設けた閲覧室があり、3・4階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室にある図書資料は約2万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や、京都府、府内市町村が発行した資料等を並べているほか、1階展示室で行う展示に関する「資料紹介コーナー」を設けるなど、館全体で一体となって交流・探究の場を提供している。

○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の役割は三つあり、まず旧総合資料館でも行っていた京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料等約88万点の収集・保存・公開を進めること、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。二つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。三つ目は海外の研究者を招へいし、京都文化を研究してもらうこと。この三点を柱として交流・探究を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

平成28年12月に一部オープンしてから多くのイベントを開催しており、令和4年度においては、コロナ禍にあつて、「京都を学ぶセミナー」をはじめとする計82回の各種主催

講座を実施し、延べ約 6,600 人の参加を得た。

また、令和2年度から一部指定管理者制度を導入しており、指定管理者主催・当館共催による講座・展示等の事業も実施している。

これからも京都学・歴彩館の場所・人・資料などの資源を用いて府民の方へ様々な形で発信していきたい。そして、府民の皆さんが資料を手に取り、研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来る拠点としていきたいと考えている。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

2 利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）

（1）利用者等の状況

○1階（交流フロア）、2階（探究フロア）の利用者数等について

※開館時間の短縮及び利用人数の制限を実施

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
展示室	9,454人	出納件数	8,592件
京都学ラウンジ	4,632人	書庫の図書資料	7,173件
学習室	39,519人	古文書等	568件
大ホール	21,082人	行政文書	817件
小ホール	11,529人	写真資料	0件
2階 探究フロア （府立大附属図書館含む）	84,068人	近代文学資料	34件
		相談件数	9,553件
合計	170,284人	資料の使用 （管理委託現物資料含む）	52件 209点
		資料の利用 （管理委託現物資料含む）	126件 484件
		資料の複写	6,764件 117,963枚
開館日数	331日 ※2階：326日	資料の館外貸与 （管理委託現物資料含む）	41件 244点（冊）
一日平均利用者数	514人		

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		令和4年度受払状況							累計 (令和5年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料	図書資料	844	4,302	1,230	—	6,376	6	6,370	411,395冊
	その他 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	1,728点
	小 計	844	4,302	1,230	—	6,376	6	6,370	413,123(点)
文書資料	古文書 ^{※2}	—	48	—	—	48	—	48	144,751点
	行政文書	—	—	—	3,829	3,829	—	3,829	101,843点
	写真資料 ^{※2}	—	—	—	—	—	—	—	134,094点
	近代文学資料 ^{※2} 2	—	—	—	—	—	—	—	26,881点
	その他	—	—	—	—	—	—	—	256点
小 計	0	48	0	3,829	3,877	—	3,877	407,825点	
^{※3} 管理委託 現物資料	美術工芸資料	—	119	—	—	119	—	119	11,633点
	歴史民俗資料	—	1	—	—	1	—	1	20,100点
	その他 ^{※4}	—	—	—	—	—	—	—	23,663点
	小 計	0	120	0	0	120	—	120	55,396点
合 計		844	4,470	1,230	3,829	10,373	6	10,367	876,344冊(点)

※1 版木ほか。

※2 古文書・写真資料・近代文学資料の累計は、目録データの分割・統合による変動を含む。

※3 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。(管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設にて収蔵)

※4 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

上記に加え、京都関係パンフレット198冊をKパンフレットとして簡易整理し、総数2,939冊を「京の記憶アーカイブ」京都関係雑誌記事論文と共に検索できるようにしました。

3 京都学研究推進の主な取組

(1) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦された優秀な外国人若手研究者を選考の上、「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行いました。

京都学研究員には、受入期間中、京都研究・日本研究に従事いただくとともに、「府民向けセミナー」においてその研究成果を発表いただきました。

覚書締結機関：計7（海外4・国内3）機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所（イギリス）
- ・国立高等研究実習院（フランス）
- ・国立台湾大学文学院日本研究センター（台湾）
- ・南カリフォルニア大学（アメリカ）
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

京都学研究員（令和4年度）

氏名（敬称略）	国・地域	専 門	研究テーマ	受入期間
マティアス・ハイエク	フランス	知識社会学、 術数文化	『近代における「迷信」の成立： 撲滅政策と科学史誕生の視座』	令和4年 8月22日 ～令和4年 10月31日

(2) 京都学デジタル資料閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

また、賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開に関する覚書を令和3年5月13日に賀茂別雷神社と締結し、緊急事態宣言解除後の同年6月1日から試行的に一部資料（985点、3,556コマ）の閲覧供用を開始しました。

デジタル閲覧資料について、その後も、追加登録作業を行っており、現在、約6万コマの閲覧が可能です。

令和4年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	108人
閲覧利用資料数	7,224件
閲覧ページ数	10,500ページ

(備考：令和4年4月1日～令和5年3月31日実績)

(3) 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴彩館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一段階の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに研究会を発足し、共同研究に取り組みました。その後、引き続き府内各地域の文化資源を掘り起こし、その魅力を紹介する共同研究を推進しています。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

令和4年度においては、『京都を学ぶ【伏見編】』（令和3年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【伏見編】」を開催するとともに、「宇治の文化資源」共同研究会（令和3年度発足）の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【宇治編】』を令和5年3月に刊行しました。また、新たに「丹後の文化資源」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

伏見の文化資源共同研究参加メンバー（令和2～4年度）

(五十音順 敬称略 肩書は令和2年度時 テーマは研究報告書タイトル)

國下 多美樹	龍谷大学文学部 教授
	遺跡からみた伏見深草地域の弥生文化－深草遺跡を中心に－
小林 大祐	京都文教大学総合社会学部 専任講師
	伏見城下町と向島城
谷 徹也	立命館大学文学部 准教授
	豊臣政権の拠点城郭と「首都」
中村 貴子	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授
	伏見酒造蔵群における京都府産酒造用原料米の価値
橋本 章	京都文化博物館 主任学芸員
	“巨椋池”の喪失と発見－伏見からのまなざしを中心に－
東 昇 片山 正彦	京都府立大学文学部 准教授
	市立枚方宿鍵屋資料館学芸員・京都府立大学共同研究員
	淀川舟運からみた伏見－旅籠と「船宿」－

杉本 弘幸	京都府立京都学・歴彩館
	「伏見義民」と明治維新一芸能・顕彰・考証一
寺嶋 一根	京都府立京都学・歴彩館
	元禄期における御香宮の境内整備

宇治の文化資源共同研究参加メンバー（令和3～5年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和3年度時 テーマは研究報告書タイトル）

家塚 智子	宇治市源氏物語ミュージアム 館長
	宇治を描く一歌枕から名所図へ一
上杉 和央	京都府立大学文学部 准教授
	近世宇治郷を描いた絵図の系譜
清水 重敦	京都工芸繊維大学工芸科学部 教授
	宇治小倉の茶業景観
杉本 宏	京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター教授・主任研究員
	平安期宇治別業群とその文化資源性
藤井 孝夫	京都先端科学大学バイオ環境学部 特任教授
	宇治茶の岐路一品質至上主義か大量生産指向か一
森 正美	京都文教大学総合社会学部 教授
	宇治のまちの文化資源の持続性一コロナ禍における地域行事から考える一
川口 成人	京都府立京都学・歴彩館
	中世後期宇治田原地域の戦乱と在地勢力
中西 大輔	京都府立京都学・歴彩館
	巨椋神社本殿の建築

丹後の文化資源共同研究参加メンバー（令和4～6年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和4年度時 テーマは契約時のもの）

河原 典史	立命館大学文学部 教授
	伊根浦における舟屋集落を活かした新しいツーリズム
高野 陽子	京都府埋蔵文化財調査研究センター
	日本海三大古墳と丹後の古墳時代
高橋 克壽	花園大学文学部 教授
	弥生時代の丹後をめぐる地域間交流
菱田 哲郎	京都府立大学文学部 教授
	祭祀遺跡から神社へ ～古代丹後の信仰を遺跡から考える～

町田 香	京都芸術大学大学院芸術研究科 准教授
	京都丹後地域の庭園文化
山田 徹	同志社大学文学部 准教授
	丹後国の中世史料と荘園・領主
松浦 智博	京都府立京都学・歴彩館
	丹後田辺藩京都留守居の職務
吉岡 直人	京都府立京都学・歴彩館
	『丹後国分寺再興縁起』の基礎的研究

4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
令和4年 4月16日(土)～ 6月5日(日) (4/29、5/3～ 4、11は休館) [開場日数46日]	企画展「明石博高 ー京都近代化の先駆者ー」 ・展示品：91点 ・附帯事業：シンポジウム ・概要：明治元年(1868)新政府が成立。東京 奠都に伴い、京都の経済は大きく衰退した。 その京都の低迷期を文化や産業の振興で脱却 しようとしたのが、当時、京都府の参事 (後に知事)であった榎村正直、顧問の山本覚 馬、そして青年蘭方医の明石博高である。 本展では、とりわけ実働的に推進役を担った明 石博高にスポットを当て、神田外語大学、国 際日本文化研究センター(日文研)、京都学・ 歴彩館の豊富な資料100点余をもとに、知られ ざる明石の人物像、そして19世紀初頭から京 都に根付いた蘭学・洋学を背景に、明石が推し 進めた近代化のあゆみに迫る。	1階 展示室	2,050人 (45人/日) シンポジウム 5/21:225人
令和4年 7月16日(土)～ 9月11日(日) (7/18、8/10、 11は休館)	京都府ミュージアムフォーラムー丹後から山 城まで博物館大集合!「あやしい・京都」 ・展示品：46点 ・附帯事業：ギャラリートーク ・概要：丹後地域から山城地域までの京都府		3,816人 (69人/日) ギャラリー トーク 8/4:12人

<p>[開場日数 55 日]</p>	<p>ミュージアムフォーラム加盟館の所蔵品でたどる展覧会。</p> <p>本展では、テーマに掲げた「あやしい」を探究心や好奇心を刺激して、京都府のことをもっと知りたくなる、ポジティブな意味合いでとらえ、様々な展示品によって、京都府のすばらしい魅力を再認識していただけるよう、府内各地域から「あやしい」文化資源を陳列。</p>	<p>8/18 : 14 人 8/25 : 21 人</p>
<p>令和 4 年 9 月 17 日(土)～ 11 月 6 日(日) (9/22、10/13、 10/27 は休館) [開場日数 46 日]</p>	<p>「寄附受入記念展示「中井貞次と井隼慶人」」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示品: 7 点 ・ 附帯事業: ギャラリートーク ・ 概要: 京都府が作品の寄贈を受けたことを記念し、中井貞次と井隼慶人のろうによる防染を基本とした染色の作品を紹介。 <p>ろうによる防染とは、溶かしたろうを生地におくとその部分が染料に染まらないようになるという技法。中井貞次は、藍を重視し、藍の濃淡を基調とした透明度の高い色彩で、国内外の様々な土地を旅して得た自然や風土の印象を表現している。井隼慶人は鮮やかな色彩で、京都の名所や何気ない風景の美しさを表現した作品を多数制作している。</p>	<p><u>1,537 人</u> (33 人/日) ギャラリー トーク 9/22:17 人 10/13:22 人 10/27 : 7 人</p>
<p>令和 4 年 12 月 17 日(土)～ 令和 5 年 1 月 8 日(日) (12/28～R5.1/4 は休館) [開場日数 15 日]</p>	<p>「第 5 回府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学—京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵資料展—」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要: 文学部の各学科が、それぞれの特色を活かしたテーマで歴彩館資料を展示。 <p>日本・中国文学科「源氏物語の伝本・研究・受容」 和食文化学科「京都の酒造りとその歴史」 欧米言語文化学科「キモノと着物の中で—欧米人の見た京都の文化」 歴史学科「日本文化史研究」成果発表 (「京の玄関口、三条大橋」、「近世・近代の淀川水運」、「保津川下りと異人道」、「幻となった新宇治駅」)</p>	<p><u>470 人</u> (31 人/日)</p>

	・ 展示解説集を配布。	
令和5年 1月14日(土) ～3月5日(土) (2/8、2/11、2/23 は休館) [開場日 48 日]	「いけばなを極める - 宮本溪雄旧蔵コレクション展」 ・ 展示品: 52 点 ・ 附帯事業: ギャラリートーク ・ 概要: 池坊において長く教授を務めた宮本溪雄氏が収集したコレクションの寄贈を記念し、開催。コレクションは、古典籍・図書(1500件余)、絵画や書、花器など(61件)流派にこだわらず、幅広くいけばなの歴史全般にかかわるものであり、宮本氏のいけばなに対する深い造詣の念が感じられる。 本展では、その中から、立花(りっか)の発祥の地である京都にふさわしい優れた資料群や華やかな立花(りっか)の絵図、花器などを展示。	1,581 人 (33 人/日) ギャラリー トーク 1/19: 5 人 1/26: 16 人 2/16: 14 人
合計		9,454 人

○ 常設展等

・ 1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

・ ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
令和4年2月9日(水) ～令和4年6月8日(水)	光庭2	木下順「風の姿」
令和4年6月8日(水) ～令和4年10月12日(水)	光庭2	柿本香「六面体と六角形、ESTADO(I、II)」
令和4年10月12日(水) ～令和5年2月8日(水)	光庭2	小倉輝正「陶と木のオブジェ展」
令和5年2月8日(水) ～令和5年6月14日(水)	光庭2	岩木幹雄「この娘のものがたり 花・いきもの そしてすべてに愛を」

・1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	協 力
令和4年3月24日(木) ～5月15日(日)	府大生による…探検！発見！歴彩館—コラボで探る京都学— (6)	京都府立大学文学部 歴史学科
令和4年5月16日(月) ～6月30日(木)	京都府内の文化遺産—令和3年度府指定・登録等文化財について—	京都府文化財保護課
令和4年7月1日(金) ～7月31日(日)	府大生による…探検！発見！歴彩館—コラボで探る京都学— (7)	京都府立大学文学部 歴史学科
令和4年8月1日(月) ～8月31日(水)	寄附で保護される京都の文化財と京都文化体験	京都府文化政策室
令和4年9月1日(木) ～9月30日(金)	府立大学 A C T R (地域貢献型特別研究) 研究成果パネル展	京都府立大学京都地域未来創造センター
令和4年10月1日(土) ～10月31日(月)	発掘された京都の歴史 2022	京都府埋蔵文化財調査研究センター
令和4年11月1日(火) ～11月30日(水)	京都府立植物園開園 100 周年に向けて	京都府立植物園
令和4年12月1日(木) ～12月13日(火) 12月19日(月) ～令和5年1月18日(水)	西陣呼称 555 年記念パネル展 京都の伝統産業「西陣織の技と美」	西陣織工業組合
令和5年1月19日(木) ～3月7日(火)	天橋立パネル展～名勝 100 年から次の 100 年へ～	宮津市
令和5年3月9日(木) ～3月14日(火)	第 11 回子ども読書本のしおりコンテストの作品展	京都府教育委員会 京都府図書館等連絡協議会
令和5年3月15日(水) ～5月9日(火)	府大生による…探検！発見！歴彩館—コラボで探る京都学— (8)	京都府立大学文学部 歴史学科

・2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナー名
令和4年6月9日(木) ～8月9日(火)	京都の古墳
令和4年11月10日(木) ～11月30日(水)	もっともっと新選組

令和4年12月15日(木) ～令和5年1月31日(火)	風流踊
令和5年2月9日(木) ～2月17日(金)	明治後期～大正期の懸賞図案
令和5年3月9日(木) ～3月14日(火)	「第11回子ども読書本のしおりコンテストの作品展」 (主催：京都府教育委員会・京都府図書館等連絡協議会) ※京都学ラウンジと2カ所で開催

◆ 講座

○ 京都を学ぶセミナー「伏見編」

「伏見の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【伏見編】」を開催しました。

年月日	内 容・講 師（敬称略）	参加者数
令和4年 5月18日(水)	<第1回> 講演 京都府立大学大学院准教授 中村 貴子 「伏見酒蔵群の需要に応える酒米ブランドとは」	115人 大ホール
令和4年 7月20日(水)	<第2回> 講演 龍谷大学教授 國下 多美樹 「深草遺跡と列島の弥生時代～考古資料が語ること～」	119人 大ホール
令和4年 8月23日(火)	<第3回> 講演 市立枚方宿鍵屋資料館学芸員 片山 正彦 「淀川舟運からみた伏見―「旅籠」と「船宿」―」	135人 伏見区役 所4階 大会議室
令和4年 10月12日(水)	<第4回> 講演 京都文化博物館主任学芸員 橋本 章 「巨椋池の物語―失われた大地と美しい自然の記憶―」	145人 伏見区役 所4階 大会議室
令和4年 11月2日(水)	<第5回> 講演 立命館大学准教授 谷 徹也 「秀吉の「首都」伏見の事件簿」	213人 大ホール
令和5年 3月7日(火)	<第6回> 講演 佛教大学専任講師 寺嶋 一根 「御香宮の江戸時代―17～18世紀を中心に―」	203人 大ホール

○ 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー

海外から招へいた日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催しました。

年月日	内容・発表者（敬称略）	参加者数
令和4年 10月27日（木）	海外若手研究員による府民向けセミナー 発表 マティアス・ハイエク 「近代における「迷信」の発見」	86人 小ホール

○ 国際研究集会

東京大学史料編纂所（所長：本郷恵子）、科学研究費・基盤研究（A）「東アジアにおける工匠関連史料にもとづく建築生産史の再構築と技術蓄積・伝播の解明」（研究代表者：海野聡〔東京大学大学院工学系研究科准教授〕）、東京大学史料編纂所「天皇家・公家の「知」の体系としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト、東京大学史料編纂所・2022年度一般共同研究「中井家文書」を中心とする建築関連史料の高度資源化と活用」（所外研究代表者：海野聡）との共同主催で実施しました。

年月日	内容・講師等（敬称略）	参加者数
令和4年 12月10日（土）	御所（宮殿）・邸宅造営関係資料の地脈と新天地 「平安宮宮殿造営と近世御所（宮殿）建築の研究並びに東アジアにおける建築生産史と工匠史料の新展開—前近代造営関係資料のデジタル画像の公開と活用の最前線—」 午前の部：平安期の宮殿（大極殿・内裏、大内裏）造営研究の最先端 ○報告 東京大学史料編纂所教授 田島 公 「趣旨説明」 東京大学名誉教授 藤井 恵介 「平安時代の宮殿建設システムと建築様式「和様」」 前宮内庁京都事務所長 詫間 直樹 「後三条天皇と大嘗宮・太政官庁」 国際日本文化研究センター機関研究員 上野 勝之 「文献史料から見た承明門の地鎮遺構 - 延久3年説の検証 -」 ○対談 東京大学名誉教授 藤井 恵介 前宮内庁京都事務所長 詫間 直樹 「後三条天皇と造営事業」	68人 小ホール 内1人は 海外から ZOOM参加

	<p>午後の部：宮内庁書陵部図書寮文庫所蔵「中井家文書」の新 知見と東アジア工匠史料と道具の展望</p> <p>○報告</p> <p>東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡 「趣旨説明」</p> <p>I 部 宮内庁書陵部所蔵図書寮文庫内匠寮本「中井家文書」 を中心とした近世内裏造営の研究</p> <p>九州大学大学院芸術工学研究院准教授 加藤 悠希 「寛政度・安政度内裏造営と中井家文書」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程 堤 淳也 「安政度内裏築地移築工事における仮設物の復元的考察」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科修士課程 妹背 伊織 「安政度内裏の築地移築工事における大工小屋施設と作業 現場の配置について」</p> <p>II 部 東アジアにおける建築生産史と工匠史料</p> <p>東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡 「趣旨説明」</p> <p>奈良文化財研究所アソシエイトフェロー 李 暉 「『営造法式』からみた中国宋代の大工道具」</p> <p>明知大学客員教授 金 碩顯 ※ZOOM参加 「韓国の大工道具」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡 「歴史資料としての日本の大工道具と工匠史料」</p>	
--	---	--

○ 陽明文庫講座

公益財団法人陽明文庫、東京大学史料編纂所との共同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和4年 5月14日（土） （新型コロナウイルス感染 拡大により令 和4年2月5日	<p>陽明文庫資料からの再発見Ⅱ</p> <p>○講演</p> <p>公益財団法人陽明文庫文庫長 名和 修 「金瑛瑯について」</p> <p>京都大学名誉教授 藤井 讓治 「近衛前久書状と秀次事件」</p>	202名 大ホール

(土) から延期して開催)	○報告 東京大学史料編纂所准教授 松澤 克行 「勘返状の世界」	
令和5年 2月4日(土)	陽明文庫資料からの再発見Ⅲ ○講演 公益財団法人陽明文庫文庫長 名和 修 「千聲について」 東京大学史料編纂所教授 尾上 陽介 「陽明文庫所蔵史料のあれこれ—科学研究費・基盤研究(A)の成果と今後の課題—」 関西大学名誉教授 山本 登朗 「近衛家と伊勢物語」	275名 大ホール

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日、小ホールにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師 (敬称略)	参加者数
令和4年 4月7日、14日 21日、28日	文化財からみた京都の歴史と文化	副館長 森下 衛	229人
令和4年 5月12日、19日	近代「西陣」の生活文化史 -伝統産業をつむぐひとびとの実像-	京都学推進課 杉本 弘幸	131人
令和4年 5月26日、 6月2日、 9日、16日	京都府の文化財 ～令和3年度府指定・登録文化財～ ①<全体概要と無形文化財> ②<美術工芸品> ③<建造物> ④<史跡>	京都府文化財保護課 ①福島 孝行、 向田 明弘 ②吉野 健一 ③福島 匠 ④古川 匠	222人
令和4年 7月7日、 21日、28日	律令国家と印—ハンコにまつわるお話	京都学推進課 吉岡 直人	173人
令和4年 8月18日、25日	ひとびとは川を渡る -江戸時代の川と橋-	京都学推進課 松浦 智博	169人
令和4年 9月1日、 8日、22日、29日	京都府立大学 共催特別企画 ①ある旧制高等学校のドイツ語教師の話 ②京都のジャポニズム	①京都府立大学文学部 山口 美知代 ②京都府立大学文学部 山口 エレノア	247人

	③京都の料理屋のサービス ④中国の園林 園冶と私家庭園	③京都府立大学文学部 平本 毅 ④京都府立大学生命環境科学研究科 福井 亘	
令和4年 10月6日、 13日、20日	「発掘された京都の歴史 2022」展を通して してみた古代史！	京都府埋蔵文化財調査研究センター 調査課長 小池 寛	199人
令和4年 11月10日、 17日、24日	京都府立植物園開園 100周年に向けて ①京都由来の植物 ②観覧温室 30周年のあゆみ ③京都府立植物園 100年の樹木	京都府立植物園 ①肉戸 裕行 ②儀間 沙紀 ③中井 貞	205人
令和4年 12月1日	八世紀の宇治	館長 金田 章裕	96人
令和4年 12月22日	林屋辰三郎と燈心文庫の史料	京都市歴史資料館 野地 秀俊	55人
令和5年 1月12日、 19日、26日	京都で見る西洋建築の意匠	京都学推進課 中西 大輔	155人
令和5年 2月2日、 9日、16日	藤原宗忠と『中右記』	京都学推進課 林 奈緒子	186人
令和5年 3月2日、9日、 16日、23日	文芸史料からみた室町時代	立命館大学 川口 成人	246人

※12月1日開催分については大ホールで実施。

○ 日本名作映画上映会

府民の皆様だけでなく、日本在住・来日中の海外の方々にも日本映画を通して、京都や日本の歴史・文化に親しんでいただくため、国際交流基金京都支部と共催で英語字幕付の映画上映会を開催しました。

年月日	内容	参加者数
令和4年9月7日(水)	英語字幕付『小早川家の秋』上映と関連資料紹介	198人 大ホール
令和4年12月7日(水)	英語字幕付『カツベン！』上映	237人 大ホール

○ 資料に親しむ会

当館が所蔵する資料について、実際に資料を見ながら、当館職員が持つ知見をわかりやすく解説する講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和4年4月12日（火）	明治初期の御所周辺 資料課 田中 まさみ	97人 小ホール
令和4年5月10日（火）	大蔵経（一切経）に親しむ～仏教典籍の集大成～ 資料課 合田 淳	63人 小ホール
令和4年6月7日（火）	資料でたどる京都買物案内 資料課 加藤 大地	69人 小ホール
令和4年7月12日（火）	大蔵経に親しむ 第2話～近代以降の大蔵経～ 資料課 合田 淳	40人 小ホール
令和4年9月6日（火）	東寺百合文書に親しむ～タイトル第15巻収録文書から～ 資料課 松井 直人	56人 小ホール
令和4年10月11日（火）	みなとオアシス登録記念 川の港・伏見港、半世紀前の姿 京都府行政文書「伏見港公園水泳場公開一件」より 資料課 若林 正博	86人 小ホール
令和4年11月1日（火）	軍記物語を読む―検非違使のすがた― 資料課 赤羽 莉奈	59人 小ホール
令和4年12月13日（火）	香への誘い～香りから古に思いを馳せて～ 資料課 坪倉 未佳	66人 小ホール
令和5年1月10日（火）	絵双六（すごろく）に親しむ 資料課 藤原 直幸	37人 小ホール
令和5年2月14日（火）	大正・昭和初期の流行図案に親しむ 資料課 藤本 恵子	42人 小ホール
令和5年3月14日（火）	蔵書印に親しむ 資料課 松田 万智子	46人 小ホール

○ 寺子屋講座

小中学生を主な対象としたワークショップを開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和4年8月9日（火）	寺子屋講座 歴彩館でボードゲームを楽しもう！ 資料課 藤原 直幸	20人 小ホール

○ 京都資料総合閲覧室ミニツアー

歴彩館を初めて訪れた方や京都資料総合閲覧室を利用したことがない方を対象に、京都資料総合閲覧室の資料と使い方を案内するミニツアーを開催しました。本年度は京都府立大学附属図書館の新入生オリエンテーションと連携し、5回実施して、のべ23人の方にご参加いただきました。

○ 館外での講座（当館職員・敬称略）

年月日	演題・講師	会場等	参加者数
令和4年 5月31日(火)	「伏見城の歴史」 資料課 若林 正博	主催：京都洛南ロータリー クラブ リーガロイヤルホテル京都	50人
令和4年 11月1日(火)	「家康天下取りの地伏見— どうする家康を見る前に」 資料課 若林 正博	主催：京都伏見ロータリー クラブ ホテルグランヴィア京都	50人
令和5年 2月25日(土)	「鉄道とプロ野球の不思議 な関係」 資料課 若林 正博	主催：歴彩館指定管理者コ ングレ・日本管財・丸善雄 松堂共同企業体 京都学・歴彩館大ホール	140人

◆ 資料紹介コーナー

当館主催の展覧会や講演会等に関連する所蔵資料を紹介するコーナーを設け、展覧会や講演会への興味を持ってもらい、また、理解を深めていただきました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
令和4年4月14日(木) ～6月7日(火)	「明石博高—京都近代化の先駆 者—」展関連資料	当館展覧会	340
令和4年5月12日(木) ～8月9日(火)	資料に親しむ会「大蔵経（一切 経）に親しむ」関連資料	当館主催講座	60
令和4年5月12日(木) ～6月1日(水)	「伏見酒蔵群の需要に応える酒 米ブランドとは」関連資料	当館主催講座	260
令和4年6月9日(木) ～8月9日(火)	京都の古墳	—	510
令和4年7月14日(木) ～9月11日(日)	「あやしい…京都」関連資料	当館展覧会	650
令和4年7月14日(木) ～7月27日(水)	「深草遺跡と列島の弥生時代」 関連資料	当館主催講座	208
令和4年8月25日(木) ～9月11日(日)	映画上映会「小早川家の秋」関連 資料	当館主催上映会	250

令和4年9月2日(金) ～9月30日(金)	稲盛和夫さんを偲んで	—	—
令和4年9月17日(土) ～11月8日(火)	「中井貞次と井隼慶人」関連資料	当館展覧会	234
令和4年10月7日(金) ～10月19日(水)	京都の喫茶店	指定管理者自主事業、府大図書館連携	400
令和4年10月13日(木) ～10月31日(月) 令和5年3月1日(水) ～3月7日(火)	「御香宮の江戸時代」関連資料	当館主催講座	150
令和4年10月20日(木) ～10月31日(月)	「近代における迷信の発見」関連資料	当館主催講座	120
令和4年10月26日(水) ～11月8日(火)	「秀吉の「首都」伏見の事件簿」関連資料	当館主催講座	180
令和4年11月1日(火) ～11月30日(水)	「京都府立植物園100周年に向けて」関連資料	当館主催パネル展示	310
令和4年11月10日(木) ～11月30日(水)	もっともっと新選組	京都文化博物館展覧会	446
令和4年12月1日(木) ～令和5年1月10日(火)	「西陣織の技と美」関連資料	当館主催パネル展示	基本編63 研究編20
令和4年12月15日(木) ～令和5年1月31日(火)	風流踊	ユネスコ無形文化遺産登録記念	137
令和5年1月12日(木) ～3月7日(火)	「いけばなを極める」展関連資料	当館展覧会	228
令和5年2月2日(木) ～2月28日(火)	藤原宗忠と『中右記』をさらに楽しむ	当館主催講座	190
令和5年2月17日(金) ～2月28日(火)	「鉄道とプロ野球の不思議な関係」関連資料	指定管理者主催事業	214
令和5年3月9日(木) ～4月11日(火)	お菓子とりどり	—	78
令和5年3月24日(金) ～4月20日(木)	お花見に行こう	—	60

◆ SNS

館のイベント情報、休館日や開館時間、京の記憶アーカイブの更新情報（お知らせ、資料ガイド等）、資料紹介や調査（レファレンス）事例、北山エリアの話題等を広く発信するため、平成31年4月22日からTwitterとFacebookを始めました。本年度は281件発信しました。

○ #京都あれこれ

ハッシュタグに「京都あれこれ」を付して投稿し、当館が所蔵する資料を紹介しました。本年度は『祇園会細記』や『京都市街全圖』などを取り上げ、合計79回投稿しました。

5 大・小ホール・学習室について

ア 大・小ホール

大ホールの利用人数は21,082人、小ホールの利用人数は11,529人でした。

イ 学習室について

座席数は86席で、平日は9時～19時、土日は9時～17時で開室しました。

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール
令和4年4月	28日	2,610人	2,422人	829人
5月	27日	2,981人	1,548人	1,028人
6月	29日	3,172人	1,577人	918人
7月	29日	3,907人	2,267人	1,271人
8月	30日	4,016人	1,276人	731人
9月	27日	2,696人	2,247人	748人
10月	29日	3,662人	1,651人	981人
11月	27日	3,592人	1,680人	1,045人
12月	26日	3,214人	2,084人	1,594人
令和5年1月	25日	3,027人	1,166人	725人
2月	25日	3,482人	1,288人	874人
3月	29日	3,160人	1,876人	785人
計	331日	39,519人	21,082人	11,529人

6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（207席）で、開架図書約2万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年7月1日から開館時間を午後7時までに制限する措置を継続。席数は令和5年1月5日から制限を解除。

(1) 京都資料総合閲覧室の利用状況

ア 出納の状況

年月	開 室 日 数	出納の状況											
		図書 (書庫資料)		古文書		行政文書		写真 資料		近代文学 資料		合計	
		件 数	冊 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点(冊) 数
4年 4月	28	483	2,779	27	237	57	301	0	0	3	23	570	3,340
5月	27	634	3,301	44	209	69	397	0	0	1	27	748	3,934
6月	29	606	2,660	56	401	93	1,278	0	0	3	37	758	4,376
7月	29	667	2,897	44	397	85	496	0	0	3	23	799	3,813
8月	29	643	3,623	57	1,398	81	460	0	0	3	40	784	5,521
9月	23	550	2,997	50	479	52	277	0	0	2	20	654	3,773
10月	29	733	3,675	71	1,892	76	373	0	0	5	91	885	6,031
11月	27	618	2,876	68	585	83	549	0	0	3	25	772	4,035
12月	26	656	3,315	50	370	73	416	0	0	2	20	781	4,121
5年 1月	25	549	2,412	29	215	49	413	0	0	3	29	630	3,069
2月	25	556	3,011	34	1,471	43	183	0	0	4	38	637	4,703
3月	29	478	2,419	38	602	56	364	0	0	2	16	574	3,401
合計 (1日あたり)	326	7,173 (22.0)	35,965 (110.3)	568 (1.7)	8,256 (25.3)	817 (2.5)	5,507 (16.9)	0 (0)	0 (0)	34 (0.1)	389 (1.2)	8,592 (26.4)	50,117 (153.7)

イ 利用者数

年月	開室日数	利用者数	1日あたり(人)
4年4月	28	7,305	260.9
5月	27	7,210	267.0
6月	29	8,233	283.9
7月	29	9,749	336.2
8月	29	6,847	236.1
9月	23	4,341	188.7
10月	29	7,898	272.3
11月	27	7,170	265.6
12月	26	6,932	266.6
5年1月	25	6,899	276.0
2月	25	6,356	254.2
3月	29	5,128	176.8
合計	326	84,068	257.9

(2) 資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

ア 月別相談件数

年月	口頭	電話	文書	合計
4年4月	535	108	84	727
5月	636	151	93	880
6月	612	155	88	855
7月	614	166	94	874
8月	576	175	106	857
9月	528	144	85	757
10月	670	146	132	948
11月	551	132	98	781
12月	542	115	73	730
5年1月	483	114	44	641
2月	605	153	61	819
3月	495	124	65	684
合計	6,847	1,683	※1,023	9,553

※うち電子メール1,013件

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	2,617	503	524	3,644
複写依頼	1,954	164	74	2,192
特定図書在所蔵調査	1,403	602	121	2,126
図書に関する書誌的調査	30	14	2	46
人名・地名等の読み方調査	11	6	64	81
人物・団体調査	102	36	44	182
内容調査	391	154	87	632
その他	339	204	107	650
計	6,847	1,683	1,023	9,553

ウ 相談事例

○京都の祭りで、子供たちが地域の各家を訪問するものにはどんなものがあるか。

【回答】

『京都滋賀子どもの祭り』で、以下の4つの祭りが紹介されている。

pp. 23-28「川谷の狐がえり」は、1月14日、15日に北桑田郡美山町川谷（現在の南丹市美山町）で行われる、子どもたちが各家を訪問して狐を追い払うための大声をあげ、各家から祝儀をもらう祭り。pp. 40-42「田辺のおんごろどん」は、1月14日に綴喜郡田辺町宮ノ口、江津（現在の京田辺市）で行われる、子どもたちが各家を訪問してもぐら（おんごろどん）を追い払うために大声をあげながら地面を叩き、各家からお小遣い・お菓子をもらう祭り。pp. 48-53「西賀茂のおんごろ餅」は、2月3日に京都市北区西賀茂鎮守菴町、今原町で行われる、子どもたちが各家を訪問してもぐら（おんごろもち）を追い払うために鉦・太鼓を叩きながら歌を歌い、各家から祝儀をもらう祭り。pp. 247-251「大山崎のお十夜」は、11月15日に乙訓郡大山崎町下植野の正覚寺で行われる、子どもたちが正覚寺の檀家を訪問して念仏唱和・鉦・拍子木を鳴らし、各家からお布施をもらう祭り。

また、『京都暮らしの大百科：まつり・伝承・しきたり12カ月』にも、p. 74「川谷の狐がえり」とp. 91「土竜（おんごろもち）、土竜追（おんごろもちおい）」について記載がある。なお、「土竜、土竜追」は、京都市西賀茂地区、京田辺市に加えて、南山城地域でも行われているとしている。

○大正池（京都府綴喜郡井手町）について、昭和28（1953）年の南山城水害以前の大きさや深さ等の概要を知りたい。現在の大正池は水害後に改修されたものであるが、水害に遭う前のことを調べている。

【回答】

『綴喜郡要覧』p. 52 と p. 53 の間に挿まれた写真「井手村大正池」には、面積が「2

丁余（1丁（町）は1ヘクタールにほぼ同じ。）」、水深が「最も深いところで60尺（約18m）」、工費が「2万円余」と記されている。

また、『府営水環境整備事業 大正池地区の概要』の裏面に「大正池の歴史」と題したコラムがあり、南山城水害で決壊する以前の旧大正池についても築造の経緯を記載している。それによれば、旧大正池は大正天皇の大典記念事業として、明治45（1912）年から大正3（1914）年にかけて築かれたとある。

なお、現在の大正池は、水害で決壊した旧大正池と旧二ノ谷池をひとつにまとめ、旧二ノ谷池跡に復旧再構築したものである、とも記されている。

○昭和30（1955）～昭和40年代の京都市バスの路線図（運行系統図）が見たい。

【回答】

『[京都市交通局]事業概要（月報）』に、該当する年の3月、6月、9月、12月等、定期的にその時点の運行図が掲載されている。図の名称は、見たところでは「乗合自動車運行図」や「乗合自動車系統図」のことが多い。

その他、『市バス25周年史』には昭和28年5月10日現在の「市バス運転系統図」が折込で収録されている。また、『市バス50周年』には、「路線の変遷」の項目で昭和42年6月6日現在の運行図が、市電、トロリーバスの路線と併せて掲載されている。

○高台寺（京都市東山区）の時雨亭が昭和9（1934）年9月21日の台風で倒れたことを記した資料はあるか。

【回答】

シリーズ『日本建築』茶室篇第6冊『高臺寺傘亭及時雨亭』の時雨亭の梗概を記した箇所冒頭に、昭和9年の台風で「屋根もろともに階下に崩れ落ちた」と書かれている。

また、『茶室・数寄屋建築研究』pp.229-246の「高台寺傘亭・時雨亭」にも、昭和9年の台風により「時雨亭の二階が倒壊するにいたった」との記述がある。なお、本論文は『高臺寺傘亭及時雨亭』を参考文献の一つとして挙げている。

その他、関連する行政文書として「社寺風害一件」「寺院異動・寺院営繕・寺院境内外地」がある。

○京都にまつわる「愛宕（おたぎ）郡」と「愛宕（あたご）山」「愛宕（あたご）神社」は、なぜ同じ字を使うのに読みが違うのかを知りたい。

【回答】

それぞれの由来を調べたが諸説あった。

『洛北誌 旧京都府愛宕郡村志』p.1に「愛宕の名は其起因詳かならず」としたうえで、あたごに関しては「其阿多子と云ふ所以は古事記上巻に火之迦具土神の段の傳に又

丹波國桑田郡阿多古神社（即京西の愛宕なり）も此神を祭れるとなり（阿多古とは御祖を焼たまひし故に仇子と云意にや）」とし、おたぎに関しては「於多藝の訓は據るところを考かへず。延喜式に山城國上乙訓葛野愛宕云々。和名抄に山城國管八乙訓葛野愛宕（於多岐）拾芥抄も之に同し」としている。

『京都滋賀古代地名を歩く』pp. 26-28「愛宕山（あたごやま）」の項では、地名の謂れについて、次の説を「良い」として紹介している。アタゴ・オタギは同一語源であり、神社名が郷名より古いことが多いことから、アタゴが先で後にオタギに変わった。アタゴ・オタギのタゴ・タギは、山道が狭くて曲折し凸凹している様を言う形容語、タギシ・タギタギシの元になっている「タギ」である。また、ア・オは「逢ふ」から出てアがオに変化したもの。つまり、アフ（逢）+タゴ（曲折路）で「陰阻な山（路）に出逢うところ」の意味であるアタゴが変形してオタギになった、というもの。

『京都地名語源辞典』p. 12「愛宕町（あたごちょう）」の項では、「仇子（アダコ）」が「アタゴ」になったという説、登り口が丹波側だったことからこちらから見えない側を意味する「アテ・ゴ」からきたという説、「アタゴ」はもとは「オタギ」で川をさかのぼる舟こぎ作用「タグ」が語源という説、漢字「愛」の音変化により「オタギ」から「アタゴ」になり「アタゴ」は山名に固定したという説などを紹介している。また、p. 115「愛宕（おたぎ）」の項では、『和名抄』によれば郡名も郷名もそれぞれ「於多岐」「於多木」とし、オ（接頭語）+タギ（タカ（高）で高所の意）とオ（接頭語）+タギ（タギタギシのタギと同じく陰阻な所の意）を解説している。京都盆地の中心に葛野（かどの）郡、その東北に「高所」の愛宕郡、南西に「低地」の乙訓郡（オト（劣、低い）+クニ（地域））があった。

『国史大辞典 4』p. 325「京都（きょうと）」の項には、平安京以前の京都盆地は高野・賀茂・桂の三川の氾濫原で、水のたぎち（滾ち・激しく）流れるところから愛宕（オタギ）とよばれたとある。

○江戸時代後期の京都における商家の生活や習俗について知りたい。

【回答】

『奈良屋杉本家二百七十年の歩み : 近世から近代への京商家一商い・生活・信仰』に、呉服商、製茶業を営んでいた奈良屋杉本家の経営や奉公人、儀礼等について記されている。

「近世後期の京都商家のくらしと食 : 人生儀礼出生を例に」（『食文化研究』No. 3（2007）の抜刷）では、江戸末期（安政）の個人の日記から出産にまつわる儀礼を取り上げて解説している。

「京都商家の暮らしと食 : 年中行事を例に」（『日本調理科学会誌』Vol. 42 No. 4（2009）pp. 244-254 の抜刷）では、幕末の京都で呉服商を営んでいた水口屋清兵衛の日記から、年中行事について考察している。

『日本食生活文化調査研究報告集, 28 : 平成 22 年度』に「京都商家の暮らしと食—幕末における贈答・互酬を例に—」(pp. 25-87)と題した論文が収録されている。

『商人と町(年報都市史研究 ; 5)』の「特集 商人と町」の中に「商家同族団と—京都冷泉町・菅田屋一統を事例として」(pp. 16-31)があるほか、「史料紹介」として「寛政改革期の孝子褒章関係史料—京都・赤尾屋清七の例」(pp. 106-118)もある。

『京のくらし』第 1 部「京の街と暮らし—町組・街並」に「天保年間の京見物日記」(pp. 11-13)として、漢医寺島玄洞翁の日記から当時の様子を紹介している。また、第 6 部「京の文人、商人—学問・商い」に「江戸時代に於ける富豪の生活」(pp. 108-110)があるほか、第 7 部には「幕末の京風俗」(pp. 126-128)等がある。

『近世商家の儀礼と贈答 : 京都岡田家の不祝儀・祝儀文書の検討』では、岡田家(葉種問屋)文書のうち祝儀に関するものを検討し、儀礼贈答文化について考察している。

『職・住・祭共存のまち百足屋町史』第 7 章「山鉾の隆盛と大火(江戸中後期、享保以後)」中、「3 人々の生活」(pp. 62-63)が商家の食事等について簡単に記述している。

『老舗と家訓』第 2 編「老舗の経営」中、第 11 章を「年中行事」(pp. 469-503)に充てている。なお、この第 2 編は全編が翻刻で、老舗に伝わる家訓を内容によって分類し載せている。

また、一般的に近世京都の生活・習俗を知るための手掛かりとなるような資料には、『守貞謾稿圖版集成 : 普及版』、『京都の民俗誌』、『近世の展開(京都の歴史 ; 5)』、『京都庶民生活史』がある。

○現在の京都市北区にあった、光悦村・鷹峯(鷹ヶ峰)が載っている 1615 年頃の古地図はないか。

【回答】

『新板平安城東西南北町并洛外之圖』(寛文 2 (1662) 年刊)と『[京繪圖]』(貞享 3 (1686) 年刊)に記載があった。どちらも当館の資料・デジタル画像検索システム「京の記憶アーカイブ」で画像を公開している。

『新板平安城東西南北町并洛外之圖』では、地図左上(画像は右上)の「しちく村」と「丹波道」の間に「鷹ヶ峰」とある。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaOriginal?cls=152_old_books_cat&log&pkey=0000000240&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000063960

『[京繪圖]』(②)には、左上部の「神護国祚真言寺」(神護寺)と「丹波道」の下に「たかゝみね」の表記がある。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaOriginal?cls=152_old_books_cat&log&pkey=0000002068&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000386887

他に江戸時代初期の光悦村の地図は、『光悦 : 琳派の創始者』p. 90「光悦町古図よ

り作成 光悦町の概要」と p. 87「新撰増補京大絵図 貞享三年」（『[京繪圖]』と同内容）、『本阿弥光悦 人と芸術』 p. 96 光悦寺所蔵「鷹峯光悦町古図」、『洛：朝廷と幕府（京の歴史と文化 5）』 pp. 106-107「承応三年六月光悦拝領略図地面写」と「光悦町古図」より作成した鷹ヶ峯の地図」、『桃山の春・光悦展：町衆の信仰と芸術』 p. 109 光悦寺所蔵「光悦町古図」でそれぞれ確認できる。

（web ページの最終確認日：2023 年 5 月 12 日）

* 当館では、回答した事例の中からピックアップし、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/reference/>) に登録しています。当館で受け付けた相談事例の詳細は、上記より御覧いただけます。レファレンス事例の詳細検索画面から、検索項目：提供館名「京都府立京都学・歴彩館」で検索してください。

本年もこのデータベースに多くの事例を登録したことにより、昨年に引き続き国立国会図書館長より御礼状の交付を受けました。

エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解説、整理・保存等についての相談対応するものです。

カウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で寄せられた相談に対応しました。

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	69
複写申込件数	42
複写枚数	723

※令和4年5月19日から国立国会図書館の個人向けデジタル化資料送信サービス、令和5年1月18日から同サービス印刷機能開始。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。詳細は次のとおりです。

番号	申請者の区分	資料区分	資料名	点数
1	個人	日本画	木島櫻谷「養拙帖」ほか	6
2	個人	風 俗	江馬務「映画の時代考証について」ほか	9
3	個人	日本画	唐鞍絵馬下絵	5
4	個人	日本画	「靈元天皇御即位式図」ほか	3
5	個人	日本画	土佐光文「紙雛」	1
6	個人	洋 画	須田国太郎「戸外静物」	1
7	個人	日本画	土佐光貞「定家詠十二ヶ月花鳥図屏風」	1
合計				7件 26点

7 館蔵資料等の撮影と複写

(1) 使用及び利用

館蔵資料等を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物等への掲載等を行う場合の利用届があったのは次のとおりでした。

資料種別	使用		利用	
	件数	冊(点)数	件数	冊(点)数
図書資料	11	29	27	161
図書・雑誌	5	8	19	138
古典籍	6	21	8	23
文書資料	15	134	73	277
古文書	13	122	25	111
行政文書	2	12	39	132
写真資料	0	0	3	4
近代文学資料	0	0	6	30
管理委託現物資料	26	46	26	46
合 計	52	209	126	484

(2) 行政文書の自写(許可を得て利用者自身が撮影)の状況

1,539点 68,961枚

(3) 複写状況 (R4.4.1~R5.3.31)

複写種別		合計	
		件数	枚数
電子式複写	白黒	6,764	107,475
	カラー		6,652
(撮影) ※			(25,671)
画像プリント			953
マイクロリーダープリンター			2,091
国会図書館デジタル送信資料用端末による印刷※※	白黒		719
	カラー		4
京の記憶アーカイブ及び館内閲覧端末での印刷	白黒		66
	カラー		3
合計			6,764

※撮影は、複写枚数に含まない。

※※図書館向けデジタル化資料送信サービス対象資料の閲覧が、令和4年5月19日から「個人向けデジタル化資料送信サービス」が開始されたことにより、個人の登録利用者でも可能になり、令和5年1月18日からは印刷機能も利用できるようになったため、当館での印刷数が減少したと思われる。

8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 41件、244点の貸与を行いました。

(1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	南丹市日吉町郷土資料館 令和4年度夏季企画展「戦争と南丹市－沖縄とのかかわり－」	京都府出身沖縄戦没者慰霊塔京都の塔	1

(2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	奈良国立博物館 特別展「大安寺のすべて－天平のみほとけと祈り－」	本朝文粹	1
2	滋賀県立安土城考古博物館 令和4年度春季特別展 開館30周年記念「戦国時代の近江・京都－六角氏だってすごかった!!－」	二水記	1
3	京都文化博物館 総合展示「祇園祭 ～鷹山復興記念展～」	六月十四日祇園會山鉾列書・祇園會御祭禮御行列次第ほか	3

4	福島県立博物館、京都文化博物館 企画展「新選組展 2022－史料から辿る足跡－」	[新撰組往時實 戦談書]ほか	2
5	宇治市源氏物語ミュージアム 企画展「宇治橋－彼方 こなた ソナター」	帝王編年記、山 槐記ほか	11
6	鳥取市歴史博物館 令和4年度特別展「江戸時代の京都と鳥取」	琵琶湖疏水圖誌	3
7	大山崎町歴史資料館 第30回企画展「古絵図の魅力－地図で旅する大山崎－」	洛外社寺絵巻	1
8	亀岡市文化資料館 第38回特別展「形原松平展」	[松平]家信様よ り康信様江御心 持之御書付写ほ か	8
9	南丹市立文化博物館 令和4年度秋季企画展「街道－人々のくらしをつなぐ道－」	半陶藁	2
10	京都文化博物館 総合展示「信仰の美」	大般若波羅蜜多 經：卷第四百 九十一ほか	11
11	茶道資料館 令和5年度新春展「古今歳時記－12か月のくらしと暦－」	雲圖鈔	1
12	亀岡市文化資料館 第71回企画展「文化財と過去・現在・未来」	日出新聞[明治 21年12月27日 付]	1
13	京都文化博物館 令和4年度特別展「知の大冒険－東洋文庫 名品の煌めき－」	三才圖會	2

(3) 古文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	滋賀県立安土城考古博物館 令和4年度春季特別展「戦国時代の近江・京都－六角氏だっ てすごかった!!!－」	東寺百合文書	8
2	京都文化博物館 総合展示「祇園祭～鷹山復興記念展～」	三条衣棚町文書	6
3	大津市歴史博物館 令和4年度ミニ企画展「大津市内の淀藩領の村々」	稲葉神社所蔵文 書・甲ほか	9
4	福島県立博物館・京都文化博物館 「新選組展2022 - 史料から辿る足跡 - 」	文久三年御触書 木札ほか	13

5	龍谷ミュージアム 秋季特別展「博覧 ー近代京都の集め見せるカー」	山本読書室資料	9
6	栃木県立博物館 開館四十周年記念特別企画展「鑑真和上と下野薬師寺～天下三戒壇でつながる信仰の場～」	東寺百合文書	2
7	福井県立若狭歴史博物館 令和4年度特別展「中世若狭の「まち」」	東寺百合文書	3
8	京都国立博物館 特別展「京に生きる文化 茶の湯」	東寺百合文書	2
9	大山崎町歴史資料館 第30回企画展「古絵図の魅力ー地図で旅する大山崎ー」	中井家文書	1
10	亀岡市文化資料館 第38回特別展「形原松平展～譜代大名・丹波亀山藩～」	松平家資料、及川家文書ほか	51
11	堺市博物館 令和4年度特別展「堺と武将 - 三好一族の足跡 - 」	東寺百合文書	10
12	一般財団法人今日庵 茶道資料館 令和5年度新春展「古今歳時記ー12か月のくらしと暦ー」	下橋家資料、船屋太兵衛家文書	2

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	南丹市立文化博物館 令和4年度春季企画展「るり溪と南丹の名所」	名勝旧蹟ほか	8
2	鳥取市歴史博物館 令和4年度特別展「江戸時代の京都と鳥取」	官職進退録ほか	3
3	龍谷大学 龍谷ミュージアム 特別展『菟覧ー集め見せる試みー』 初期京都博覧会・西本願寺菟覧会・仏教児童博物館・平瀬貝類博物館	宮内省検印社寺美術品目録ほか	2
4	南丹市立文化博物館 令和4年度秋季特別展「街道ー人々のくらしをつなぐ道ー」	峰山藩主参勤交代道中記	1
5	亀岡市文化資料館 第71回企画展「文化財と過去・現在・未来」	布令書ほか	6

(5) 写真資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
1	なし		

(6) 近代文学資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
	なし		

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計17件(60点)の貸与を行いました。

貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会等の名称	部門	資料名	点
1	奈良県立美術館・福井市立郷土歴史博物館	展覧会「寿ぎのきものジャパニーズ・ウェディングー日本の婚礼衣装ー」に出品のため	風 俗	「女諸礼集」ほか	2
2	三重県立美術館	展覧会「開館 40 周年記念 宇田荻邨展」(仮称)への展示のため	日本画	宇田荻邨《鴨川の夕立》ほか	2
3	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	土農力「あまのはしだて」ほか	7
4	福島県立博物館	展覧会「新選組 2022」に出品のため	日本画	土郷等妙法院休息	1
5	京都府立京都学・歴史彩館	展覧会「あやしい・京都」に出品のため	民 具	デンチ網	1
6	京都市美術館(京都市京セラ美術館)	特別展「綺羅めく京の明治美術ー世界が驚いた帝室技芸員の神業」に出品のため	日本画	幸野楳嶺《妓女図》ほか	3
			陶 芸	(三代)清風與平《青華磁牡丹唐草花鳥文花瓶》	1
7	一般財団法人 NHK サービスセンター	展覧会「刺繍絵画の世界展ー明治・大正期の日本の美ー」に出品のため	染 色	「鹿に薄」ほか	2
8	堂本印象美術館	展覧会「山口華楊ーいのちに心をよせてー」に出品のため	日本画	山口華楊「白鷺」ほか	2

9	泉屋博古館	展覧会「木島櫻谷－山水夢中－」に出品のため	日本画	木島櫻谷《僊客採芝図》ほか	8
10	奈良国立博物館	展覧会「春日大社 若宮国宝展－祈りの王朝文化－」に出品のため	日本画	唐鞍絵馬下絵	1
11	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	曲子明良「丹後暮色」ほか	7
12	京都市考古資料館	展覧会「成田屋人形の原型と型－歌舞伎十八番の暫・矢の根・助六－」に出品のため	郷土玩具	伏見人形制作工程資料「暫」	1
13	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	大豊世紀「刻」ほか	7
14	茶道資料館	展覧会「古今歳時記－12か月のくらしと暦－」に出品のため	日本画	土佐光武「紙雛図」	1
15	南丹市立文化博物館	展覧会「國府克展－山の魅力に惹かれて」に出品のため	日本画	國府克「風景」ほか	5
16	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	木下育應「黒谷待春」ほか	6
17	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため	日本画	猪熊佳子「杜の雫」ほか	2
			陶芸	六代清水六兵衛「青磁耳付花瓶」	1
合計 17件 60点					

9 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、23館、61冊の貸出し、7館、14冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	6	1	木津川市立中央図書館	1	5
京都市中央図書館	1	-	精華町立図書館	3	1
京都市右京中央図書館	5	-	亀岡市立図書館中央館	1	-
京都市岩倉図書館	1	-	南丹市立中央図書館	1	-
京都市山科図書館	1	-	福知山市立図書館中央館	-	2
京都市下京図書館	2	-	舞鶴市立西図書館	1	-
京都市洛西図書館	9	-	宮津市立図書館	1	-
京都市醍醐図書館	1	-	京丹後市立あみの図書館	2	-
京都市久我のもり図書館	4	-	京都先端科学大学図書館	2	-
長岡京市立図書館	-	1	京都工芸繊維大学附属図書館	4	-
城陽市立図書館	1	-	仏教大学附属図書館	2	-
八幡市立八幡市民図書館	4	-	京都女子大学図書館	3	3
京田辺市立中央図書館	5	-	京都大学附属図書館	-	1
			計	61	14

(2) 国立国会図書館等

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、令和4年度の借受利用はありませんでした。

10 共催事業等

○ 日本文化史研究1・2

京都府立大学文学部歴史学科の授業「日本文化史研究1・2」を当館にて実施しました。当館の所蔵資料を使ってグループ毎に設定したテーマで調査研究を行い、その成果発表の展覧会「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」を当館の展示室で開催しました。

(授業期間：令和4年度前期(15回)・後期(15回)、受講者：13人、展覧会会期：令和4年12月17日(土)～令和5年1月8日(日))

○ 資料で親しむ京都学

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した科目「資料で親しむ京都学（リベラルアーツ・ゼミナール）」を開講しました。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。（期間：令和4年度後期（15回）、受講者：11人）

○ 「歴史文化体験」（京都府立鴨沂高等学校）

京都府立鴨沂高等学校の京都文化コースとの連携授業「京都の産業文化」を当館にて実施しました。（令和4年11月18日（金）実施、生徒31人、引率教諭1人が参加。）

京都の世界企業である島津製作所と任天堂を取り上げて、ノーベル賞やコンピュータゲームだけではない企業の歩みと現況について、京都の伝統産業や歴史地理的環境、生徒達自身とのかかわりなども交えて紹介し、京都学・歴彩館が所蔵する関連資料を閲覧しました。

○ 講座・シンポジウム等

当館を会場に次の共催事業を開催しました。

事業名	年月日	主催・共催者	参加者数
公益財団法人古代学協会 2022年度公開講演会「京都の天皇陵」	令和4年8月28日（日）	公益財団法人古代学協会	155人 大ホール
第40回人文機構シンポジウム「人類妄想進化論—文学はいかに地球社会を共創するのか？」	令和5年3月25日（土）	大学共同利用機関法人人間文化研究機構	352名 大ホール 内229名 はオンライン参加
公益財団法人古代学協会 2022年度第2回公開講演会「『伊勢物語』と馬」	令和5年3月26日（日）	公益財団法人古代学協会	98人 大ホール

○ 指定管理者(コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体)主催事業（当館共催）

事業名	年月日	参加者数
京の映像上映会vol. 1～12	令和4年度	631人 大ホール
歴彩館こどもカレッジ 算数教室「そろばんで数字にふれてみよう！」	令和4年4月3日（日）	88人 小ホール
新・京都学講座【シネマ編】「マザーウォーター」	令和4年4月24日（日）	152人 大ホール

新・京都学講座公文書から見つかった鉄道図面	令和4年5月8日(日)	241人 大ホール
「本を彩る」水引ワークショップ	令和4年6月18日(日)	19人 小ホール
新・京都学講座 関連 パネル展	令和4年6月18日(日)～ 7月2日(日)	エントランス
新・京都学講座 関連 パネル展示	令和4年7月3日(日)	150人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ プログラミング教室「ロボットを走らせよう！～京都・洛中のまち編～」	令和4年7月31日(土)	32人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ 影絵劇場「シルエツトファンタジー・はらぺこプンタ」	令和4年8月11日(木祝)	233人 大ホール
文化庁京都移転記念 京都府ミュージアムフォーラム連携企画 新・京都学講座「鬼と向き合うー鬼を生み出す能面師の世界」	令和4年8月27日(土)	94人 大ホール
くずし字で読む義経伝説	令和4年9月3日(土)	61人 小ホール
新・京都学講座【鉄道編②】小さな機関車「C160」の数奇な軌跡	令和4年9月25日(日)	126人 大ホール
下鴨中通ブックフェア 2022	令和4年10月8日(土)、 9日(日)	4,186人 プロムナード
“NORR(北)”への旅と本。ーNORR KYOTOの原点ー	令和4年11月27日(日)	86人 小ホール
プラフェス 運転会 in ふゆの京都	令和4年12月3日(土)、 4日(日)	980人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ天文教室 冬の夜空を見てみよう！	令和5年1月5日(木)	51人 小ホール
歴彩館こどもカレッジお家で始める SDGs！親子コンポスト講座	令和5年1月28日(土)	55人 小ホール、他
新・京都学講座【鉄道編③】鉄道とプロ野球の不思議な関係	令和5年2月25日(土)	144人 大ホール
歴彩館こどもカレッジ プログラミング教室「親子でトライ！プログラミングでロボットを走らせよう！～京都・洛中のまち編」	令和5年3月25日(土)	43人 小ホール

○ 新聞連載

「京都新聞」（原則、毎月第四金曜日朝刊、地域プラス）「京の史新 学芸員の視点から」を連載。（京都文化博物館学芸員と共同執筆）

	日付	内 容	執筆者
20	令和4年4月22日	鎌倉武士の物語	京都文化博物館 橋本 章
21	令和4年5月27日	丹後田辺藩の京都屋敷 ＝京都市下京区	京都学推進課 松浦 智博
22	令和4年6月24日	医療・福祉の変容 「京都市児童院」（1931年創設）	京都学推進課 杉本 弘幸
23	令和4年7月22日	尾上松之助	京都文化博物館 大矢 敦子
24	令和4年8月26日	塩谷古墳群 古墳時代の京丹波町	歴彩館副館長 森下 衛
25	令和4年9月23日	文化史から見た孝明天皇	京都文化博物館 西山 剛
26	令和4年10月28日	巨椋池の珍味 忘れられた 京都のスズキ	京都学推進課 吉岡 直人
27	令和4年11月25日	モダン建築と赤煉瓦	京都文化博物館 村野 正景
28	令和5年1月11日	経典書写に込めた祈り	京都文化博物館 佐藤 稜介
29	令和5年1月27日	平安貴族の大変なお仕事事情	京都学推進課 林 奈緒子
30	令和5年2月24日	原派 京を飾るもう一人の 絵師	京都文化博物館 有賀 茜
31	令和5年3月24日	江戸時代の普請願書	京都学推進課 中西 大輔

1 1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・ 図書資料

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

- ・ 古文書

- ・ 行政文書

- ・ 写真資料

- ・ 近代文学資料

- ・ 管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)	
京都資料	420	1,299	439	2,158	
京都に関連するその他の資料 (歴史、美術、宗教等)	244	2,636	210	3,090	
官庁資料	京都関係	70	254	521	845
	国・他府県	110	113	60	283
合計	844	4,302	1,230	6,376	

ア 歴史・地誌

書名	著編者等
木津川市内遺跡発掘調査報告書(令和3年度)	木津川市教育委員会編
律令体制史研究	吉川真司著
武者から武士へ：兵乱が生んだ新社会集団	森公章著
中世後期の守護と文書システム	川岡勉編
中世後期の村落自治形成と権力	熱田順著
室町文化の座標軸：遣明船時代の列島と文事	芳澤元編
異聞本能寺の変：『乙夜之書物』が記す光秀の乱(史料で読む戦国史:4)	萩原大輔著
豊臣秀吉文書集 8	名古屋市博物館編
世論政治としての江戸時代	平川新著
「五箇条の御誓文」関係資料集成(明治百年史叢書:第469回/第473巻)	所功編著
軍事と対外交渉(講座畿内の古代学:第4巻)	広瀬和雄, 山中章, 吉川真司編
京都山科陵ヶ岡学区の歴史と魅力	鏡山次郎著
離宮八幡宮文書目録：山城国乙訓郡大山崎荘(京都府乙訓郡大山崎町), 3 近代・現代編 2	神奈川大学日本常民文化研究所編
八幡の歴史に光を	土井三郎著
福知山史談會創立七十周年記念誌	七十周年記念誌編集委員会編集
乙訓の原像 続々編	中村修著
あなたの話が聞きたい：先達の記憶をつなげば村が見えてくる	永井祐子, 安達覚, 波多野豪, 塩見良則著
宇治市の昭和：写真アルバム	樹林舎
医家有馬家物語：脈々と受け継がれて約四百年、そして十五代目に続く	[有馬良宏]出版
玄珠の地と野間一族をみる	野間玄珠廟所維持会(出版)

外科医谷垣雄三物語：ニジェールのドクター・タニ	川本晴夫著
寿岳文章：人と仕事展	寿岳文章人と仕事展実行委員会編集
瑞穂草：京都療病院初代外国人医師の日本文化論	F. A. ヨンケル・フォン・ランゲック著/熊谷知実訳
絵図の史：「国土」・海洋認識と近世社会	杉本史子著
宮津天橋立の文化的景観：文化的景観調査報告書 宮津地区・補遺編（宮津市文化財調査報告：第46集）	宮津市教育委員会事務局編

イ 宗教

書名	著編者等
稲荷山の見方：神主50年・稲荷育ちの見てきた信仰の山その多様性 第2版	中田幹男著
籠神社の総合的研究	三橋健編
幕末勤王志士と神葬：洛東霊山・霊明神社の歴史	村上繁樹編著
賀茂別雷神社の所領と氏人 続（東京大学史料編纂所研究成果報告：2021-7）	東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究（中世）「賀茂別雷神社文書の調査・研究」編
山科神社史	山科神社千百二十年式年大祭実行委員会、「山科神社史」編纂委員会著
古代天皇と神祇の祭祀体系	岡田莊司著
一切経音義古写本の研究	李乃琦著
新文庫目録：総本山智積院	真言宗智山派
東寺執行日記 第1巻	東寺文書研究会編
親鸞左訓・字訓・語訓辞典	田代俊孝編
本寂上人日記 第8巻	[本寂著] / 真宗興正派編纂
本願寺派寺院と戦争：「宗門寺院と戦争・平和」調査報告書	浄土真宗本願寺派戦時被災等調査委員会編
本願寺の軌跡（ものがたり）：創建から東西分派、そして現代へ	草野顕之著
『私心記』と順興寺：戦国草創期のあゆみ	殿南真賢著
真宗興正派荘厳作法集	真宗興正派研究所勤式研究会
相国寺史 第2巻：史料編中世2	相国寺史編纂委員会編
同志社教会 2008-2022（同志社教会双書：7）	同志社教会史編集委員会編

ウ 芸術

書名	著編者等
大安寺のすべて：天平のみほとけと祈り：特別展	奈良国立博物館編
重要文化財東福寺五百羅漢図修理報告書	東福寺資料研究所編
木津川アート：作品&ドキュメント 2021	林直，長谷川政弘，加藤史江編
現代アート・彫刻・建築の賞事典	日外アソシエーツ株式会社編集
文化財の保存活用と地域コミュニティ（京都府立大学文化遺産叢書：第23集）	上杉和央編
日本中世肖像彫刻史研究	根立研介著
神像の研究	伊東史朗著
若冲の世紀：十八世紀日本絵画史研究	佐藤康宏著
サロン！：雅と俗：京の大家と知られざる大坂画壇	平井啓修編集（京都国立近代美術館）
竹内栖鳳：水墨風景画にみる画境	藤木晶子著
山口華楊：いのちに心をよせて：京都府立堂本印象美術館特別企画展	京都府立堂本印象美術館編
安野先生のふしぎな学校：安野光雅美術館コレクション	アートワン編
帝国の写真師 小川一眞	岡塚章子著
京都丹平：創立75周年記念写真集	京都丹平創立75周年記念写真集編集委員会編集
大蔭絵展：漆と金の千年物語	MOA美術館[ほか]編集/室瀬和美[ほか]執筆
「天然染料と衣服」：伝統色づくり解体新書：カラー写真で理解する染めの再現	青木正明著
刀：書物からみる刀の魅力：西尾市岩瀬文庫企画展	西尾市岩瀬文庫編
謡の家の軌跡：浅野太左衛門家基礎資料集成（研究叢書：543）	大谷節子編著
映像でみる 京と右京に伝わる伝統芸能	藤原圭編集
スポーツは生きる力：一般社団法人京都障害者スポーツ振興会五十年史	京都障害者スポーツ振興会設立50周年記念誌編集委員会編
堂射の話：通し矢天下一に挑んだ武士たち	入江康平著
上賀茂神社と賀茂競馬：京都産業大学ギャラリー開館10周年記念特別展	京都産業大学ギャラリー編
茶の湯：京に生きる文化：特別展	京都国立博物館，読売新聞社編
茶の美術：根津美術館新蔵品選	新蔵品選編集委員会（根津美術館学芸部）編集

このまちが好き:市長つれづれ日記	今井民雄著
闌更の時代:天明六年～寛政十年(『花供養』翻刻集成:1)	竹内千代子
京都文化および動植物の国文学的探究:矢野貫一 著作集	矢野貫一著

エ 社会・産業

書名	著編者等
京都祇園祭の山鉾行事歴史資料調査2	祇園祭山鉾連合会編集
究極の田舎京都美山鶴ヶ岡:いつか住みたい!住み続けたい! 第1部良いとこ自慢編	鶴ヶ岡振興会
京都のまちを災害から守る!ケンセツボーサイジャー	京都府建設業協会総務広報委員会編
数字はつくられた:統計史から読む日本の近代	佐藤正広著
子ども・若者ケアラーの声からはじまる:ヤングケアラー支援の課題	斎藤真緒[ほか]編
学校資料の世界:学校資料ガイドブック	林潤平編著
古典がおいしい!平安時代のスイーツ	前川佳代, 宍戸香美著
日本の鬼図鑑	八木透監修
変貌する祭礼と担いのしくみ	牧野修也編著
舞妓のお作法	上七軒市まめ著
雲ヶ畑山野の植物を訪ねるガイドブック	雲ヶ畑・足谷人と自然の会冊子編集委員会編集
測量・地図百五十年史	古今書院
日本建築を作った職人たち:寺社・内裏の技術伝承	浜島一成著
グンゼ 125 年史:1896-2021	グンゼ [編]
京都のおばあちゃんたちに聞いた 100 年後にも残したいふるさとレシピ 100	大和書房編集部編
宇治茶師・上林一族の軌跡	上林康二著
京都市における木質バイオマス発電の可能性について	京都地方自治総合研究所バイオマスエネルギー研究会
日本鉄道大地図館:鉄道開業 150 周年	今尾恵介監修
大丸二百五拾年史	大丸

オ 参考図書

書名	著編者等
奈良絵本・絵巻：中世末から近世前期の文華 (平凡社選書：237)	石川透著
アーキビストとしてはたらく：記録が人と社会をつなぐ	下重直樹，湯上良編
基礎から学ぶ博物館法規	原祐司著
大宅壮一文庫所蔵総目録：創立50周年記念	大宅壮一文庫編

カ 官庁資料

区分	書名	著編者等
京都関係	京都府町村会 100 年史	京都府町村会編集
	京都市レジリエンス戦略：しなやかに強く，持続可能な魅力あふれる京都のために	京都市行財政局防災危機管理室
	京都市SDGs 未来都市計画	[京都市総合企画局総合政策室SDGs・市民協働推進担当]
	京都観光振興計画 2025：住んでよし、訪れてよし、働いてよし。歴史や文化を希望にかえるまち京都	京都市産業観光局観光MICE推進室
	宇治市これからの高齢者の暮らしに関する調査・在宅介護実態調査報告書	宇治市健康長寿部健康生きがい課：介護保険課
	京都のあかり：京都らしい夜間景観づくりのための指針	京都市都市計画局都市景観部景観政策課
	“京都を彩る建物や庭園”リスト：維持継承活用のために 第10版(2022)	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課
	亀岡 農家に聞いたはなし	亀岡市：かめおか霧の芸術祭実行委員会
国	町村の施策事例集：魅力ある町村を実現するためのさまざまな取組：完全保存版 8	全国町村会編集
	学制百五十年史	文部科学省 [著]
	家族の法制に関する世論調査 令和 3 年 12 月調査(世論調査報告書)	内閣府大臣官房政府広報室

キ 古典籍

資料名	著編者等
奈良極楽院一切経破片	[鎌倉時代から南北朝時代か]

摩訶般若波羅蜜多心經	[室町時代頃か]
池坊専好立花圖卷	[元禄14 (1701)年]
立花砂物圖	[延寶6 (1678)年]
未生御流梅ヶ香	未生齋一甫 [編]
青山御流活花手引種 5巻	桂月園泰雅著, 百川子興畫
遠州流插花百瓶圖式	如月葦馬丈著, 俵屋宗理画

いけばなの一大流派・池坊において長く教授を務められた宮本溪雄氏(1911年～2005年)の旧蔵資料(古典籍・図書(1,541件2,119冊)、絵画・書・花器など(61点))を御令嬢の中村栄子氏から御寄贈いただきました。

ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,659	4	1,043
一般(歴史・美術・官庁等)	3,081	65	732
京 都 官 庁 関 係	901	—	260
計	7,641	69	2,035

本年度は『西京新聞』(明10)などを収集しました。

(2) 行政文書

ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は有期限保存文書を、以下のとおり772点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	点数	完 結 年 度	点数
平成7年度分	1,208	平成17年度～平成28年度	329
過年度分	1,849	京都府労働委員会事務局	443
合 計	3,057	合 計	772

(3) 文書の保存と複製資料の作成

ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

イ 複製資料の状況

資料区分	令和4年度収集			累 計(令和5年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古 文 書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	9	0	917
合 計	—	—	—	565	1,388	3,122

ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約1.9万コマ	平成26年 3月～
京の記憶アーカイブ		平成27年11月～
図書資料	約56.2万コマ	
古文書	約2.2万コマ	
写真資料	約7.9万コマ	
美術工芸品他	約0.8万コマ	
行政文書	約8.8万コマ	

(令和5年3月31日現在)

* 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」により図書資料(古典籍)約1.8万コマを撮影(公開は次年度以降の予定)

(4) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は、18件120点で、明細は次のとおりです。

受入先	資料区分	資料名	点数	収集区分
1	彫 刻	村上炳人「貌一変容一」ほか	2	寄贈
2	日本画	小早川秋聲「熱河朝陽所見」	1	寄贈
3	日本画	堀 泰明「祭囃子」	1	寄贈
4	洋 画	西川 純「明治大正京洛往来帖」ほか	26	寄贈
5	洋 画	吉田光慶「トレドの丘」	1	寄贈
6	洋 画	井澤元一「公園の性格」ほか	3	寄贈
7	日本画	三宅鳳白「春秋図屏風」ほか	3	寄贈
8	日本画	案本一洋・池田遙邨 合作「朝暉」	1	寄贈
9	民 具	放下鉾模型	1	寄贈
10	日本画	案本一洋「文」ほか	5	寄贈
11	日本画	案本一洋関係資料一式ほか	4	寄贈

12	書	池坊専順「和歌断簡」ほか	2	寄贈
	日本画	張 月樵「達磨図」	1	寄贈
	木 竹	深斎政賢「竹花生 銘・清雅」ほか	5	寄贈
13	陶 芸	竹中 浩「白磁シノギ壺」ほか	20	寄贈
14	漆 芸	伊藤裕司「彩鳥一朝霧(二曲一双)」	19	寄贈
15	洋 画	井澤元一「魚柳」	1	寄贈
16	洋 画	井澤元一関連資料一式ほか	2	寄贈
17	洋 画	松崎政雄「フィンガーペイント」ほか	21	寄贈
18	日本画	暁雲「四季京名所押絵貼屏風」	1	寄贈
合 計			18件	120点

12 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

(1) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書(電子公文書を含む)のうち、保存期限が経過した有期限保存文書から329点、京都府労働委員会事務局文書から443点を選別しました。

13 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」(京都府立庁前年(慶応3年)から昭和21年度までの15,407点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正・昭和期の資料2点の修理を行ったほか、108点の資料に経常的な手を行いました。

14 図書館実習・インターンシップ

(1) 図書館実習

龍谷大学学生 令和4年8月30日～9月2日(4日間) 1人

(2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

15 新聞掲載等

年月日	新聞名等	見出し
令和4年 5月19日(木)	読売新聞	医師・明石博高の業績紹介 左京京都療病院設立など
令和4年 5月23日(月)	京都新聞	京都の近代化に尽力 明治初期、府に出仕した医師・明石博高
令和4年 5月26日(木)	朝日新聞	京の近代偉人明石博高知る 府立京都学・歴彩館で功績を紹介
令和4年 7月19日(火)	KBS 京都 テレビ	きょうと Days きょうとミュージアム・リンク!
令和4年 8月3日(水)	京都新聞	京都府内から集めた奇怪な考古資料が一堂に 古代の出土品 や謎の伝承など
令和4年 8月28日(日)	読売新聞	奇妙な埴輪 ドキドキ 歴彩館、あやしい展
令和4年 9月9日(金)	読売テレビ	かんさい情報ネット ten 「エリザベス女王死去 47年前の京都訪問」
令和4年 9月10日(土)	読売テレビ	ウェークアップ 「エリザベス女王死去 47年前の京都訪問」
令和4年 9月15日(木)	京都新聞	描かれた流れ 近世の淀川水系③淀川舟運と伏見 京都・伏見が水陸交通の要衝として繁栄を極めたワケとは
令和4年 9月19日(月)	京都新聞	天橋立 日本庭園に影響 左京 世界遺産考える講座
令和4年 10月21日(金)	京都新聞	ソフィア 京都新聞文化会議 占い研究が示す社会の特質 マティアス・ハイエク氏
令和4年 11月5日(土)	京都新聞	琵琶湖原風景たどる一冊 四足門やヨシ原…多様な特徴伝える 京大名誉教授・金田さん出版
令和5年 1月17日(火)	京都新聞	最新の研究成果 披露 近衛家「陽明文庫」来月4日、左京で講座
令和5年 1月12日(木)	京都新聞	ソモソモ京都 京都で「どうする家康」 京都・伏見は徳川家康の文治政治の基礎木製活字で出版事業も
令和5年 2月20日(月)	京都新聞	元祖「絵文字メール」読解 江戸初期 近衛家・陽明文庫
令和5年 3月18日(土)	京都新聞 (夕刊)	関西私鉄で京阪だけ球団持たなかった理由 プロ野球参画の チャンス逃した「運命」

16 ウェブ提供サービスのまとめ

コンテンツ		統計項目	
ホームページ（京都府） *1 2023年2月10日から3月1日までシステム不具合のためデータなし		閲覧数（トップページ）*1	97,259
		閲覧数（全ページ）*1	178,974
ホームページ（指定管理者）		閲覧数（トップページ）	86,152
		閲覧数（全ページ）	357,336
京都府立京都学・歴彩館デジタルアーカイブ		閲覧数（トップページ）	57,336
		閲覧数（全ページ）	530,951
		書誌アクセス数	129,879
		画像ダウンロード数	53,569
古文書	資料群	提供件数	1,214
		新規登録件数	0
	目録	提供件数	140,202
		うち提供画像数	22,820
		新規登録件数	0
新規登録画像数	405		
行政文書 （国立公文書館デジタルアーカイブへも連携）	簿冊	提供件数	89,124
		新規登録件数	3,069
	件名	提供件数	628,549
		うち提供画像数	88,011
		新規登録件数	965
新規登録画像数	0		
写真資料	資料群	提供件数	14
		新規登録件数	0
	目録	提供件数	132,084
		うち提供画像数	78,684
		新規登録件数	0
新規登録画像数	0		
近代文学資料		提供件数	3,641
		提供画像数	0
古典籍・図書		提供タイトル数	3,296
		うち提供画像数	562,442
		新規登録タイトル数	48
		新規登録画像数	24
行政文書寺院関連情報		提供件数	7,997

	京都雑誌記事 論文等	雑誌記事	提供件数	80,531
			新規登録件数	34,939
		京都府関係パ ンフレット	提供件数	2,939
			新規登録件数	198
		映像資料等	提供件数	55
			新規登録件数	50
	京都府百年の年表	提供件数	20,645	
	京都府公報目次	提供件数	60,344	
		新規登録件数	0	
東寺百合文書 WEB		閲覧数（トップページ）*2	210,475	
*2 商業サイトのクローラによるアクセスと思われるものを除く。		閲覧数（全ページ）	563,538	
		提供画像数	—	
		新規登録画像数	27,680	
3 館合同蔵書検索システム (京都府図書館総合目録ネットワークへも連携)		閲覧数（トップページ）	178,083	
		閲覧数（全ページ）	1,454,510	
		検索数	318,983	
		詳細書誌閲覧数	741,489	
京都学・歴彩館所蔵 (国立国会図書館サーチへも連携)		提供タイトル数	276,811	
		新規登録タイトル数	3,892	
CiNiiBooks (国立情報学研究所との連携)		提供タイトル数	9,362	
		新規登録タイトル数	3,151	
国書データベース(国文学研究資料館との連携) *3 昨年度とはデータの取り方が異なる。		提供タイトル数*3	262	
		提供画像数*3	65,560	
		新規登録タイトル数	0	
		新規登録画像数	0	
国立国会図書館 レファレンス協 同データベース	レファレンス事例	登録事例数	657	
		うち新規登録事例数	50	
		事例アクセス数	171,453	
	調べ方マニュアル	登録事例数	8	
		うち新規登録事例数	0	
		事例アクセス数	986	
X (旧 Twitter)	全体	新規投稿数	281	
		インプレッション	960,329	
		エンゲージ	36,484	
		エンゲージ率	3.8%	

	京都あれこれ (京都に関する資料の紹介・解説 など)	新規投稿数	79
		インプレッション	345,018
		エンゲージ	15,910
		エンゲージ率	4.6%
	POPを使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	38
		インプレッション	57,297
		エンゲージ	1,662
		エンゲージ率	2.9%
Facebook	全体	新規投稿数	276
		インプレッション	48,924
		エンゲージ	4,464
		エンゲージ率	9.1%
	京都あれこれ (京都に関する資料の紹介・解説 など)	新規投稿数	75
		インプレッション	18,656
		エンゲージ	2,037
		エンゲージ率	10.9%
	POPを使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	38
		インプレッション	5,371
		エンゲージ	401
		エンゲージ率	7.5%

令和4年4月1日～令和5年3月31日

* 統計項目の語句について

・インプレッション	投稿がユーザーの画面（タイムライン）に表示された回数
・エンゲージ	投稿に対して何かしらの反応（「いいね」や「RT(リツイート)」など）を示した回数
・エンゲージ率	エンゲージ数÷インプレッション数×100

17 施設の状況

○令和5年4月1日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積 116,932.79 m²
 建物面積 6,716.04 m² 延 23,940.68 m²
 建設費 約100億円
 構造 鉄骨造 地上4階 地下2階

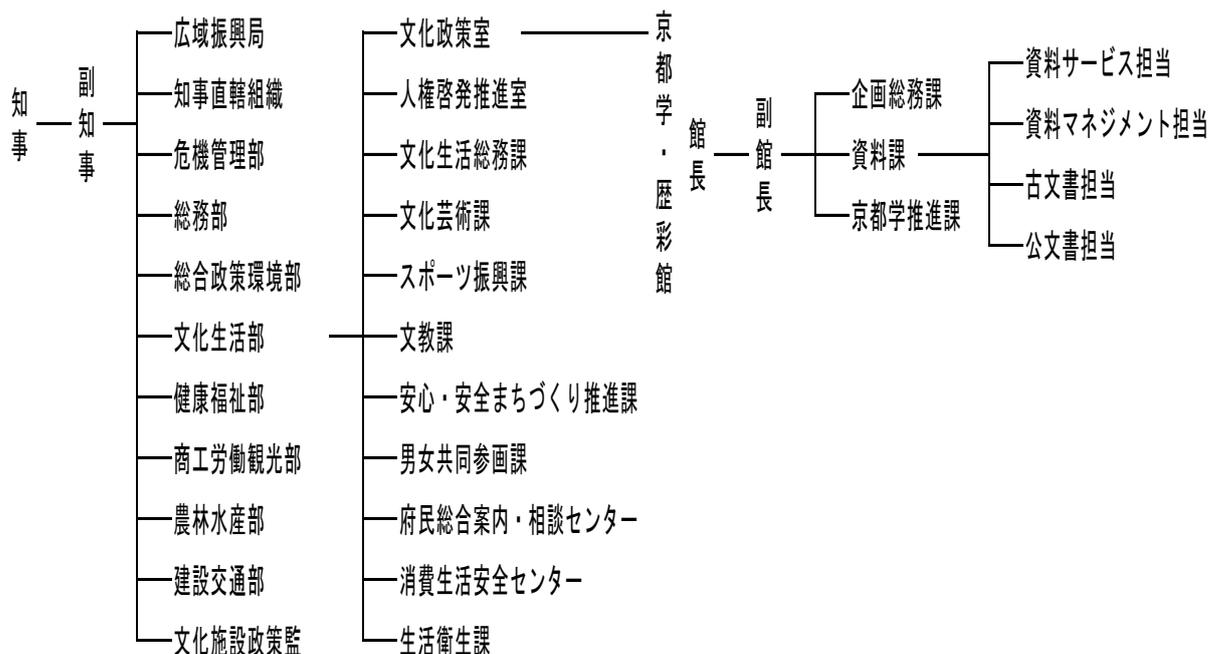
主要室の規模

1階		2階	地下1階	地下2階
学習室	160 m ²	図書閲覧室 1,259 m ² (開架書庫含)	書庫・収蔵庫 3,447 m ²	書庫・収蔵庫 3,517 m ²
展示室	290 m ²			
大ホール	511 m ²	府大閲覧室 2,012 m ² (書庫含)	撮影室 73 m ²	
小ホール	199 m ²			
京都学ラウンジ	151 m ²			
京都学研究室	142 m ²			
府大書庫等	177 m ²			

18 組織・職員数・業務分担・予算

(1) 組織

○令和5年4月1日現在



(2) 職員数

○令和5年4月1日現在(京都学・歴彩館)

	職員(再任用を含む)	会計年度任用職員等
館長	-	1
顧問	-	1
副館長	2	-
企画総務課	4(※)	2
資料課	22	12
京都学推進課	4(※)	3
計	32	19

(※)副館長は、それぞれ企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であるが、再掲していない。

(3) 業務分担

ア 企画総務課

- 1 館運営等に関する事。
- 2 館発信事業の推進等に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 連絡調整に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関する事。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関する事。
- 8 (公財)京都文化財団への業務委託等に関する事。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さない事。
- 10 保安業務に関する事。

イ 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収集並びに整理・保存に関する事。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関する事。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関する事。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関する事。

- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 研究成果の発信及び交流事業に関すること。
- 8 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関すること。

(4) 予算状況 (令和5年度当初予算)

(単位：千円)

区 分		予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)		24,900	一般管理運営に要する経費
京都学・歴彩館資料保存活用事業費		62,512	
	重要文化財京都府行政文書修理事業費	(4,015)	京都府行政文書の修理・補修費用
	京都学・歴彩館展示室運営事業費	(2,961)	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
	文化資料業務委託事業費	(55,536)	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
京都学・歴彩館統合情報システム運営費		33,619	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの運用
国際京都学活動推進事業費		9,482	京都の歴史、文化に関するセミナー、講座を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
計		130,513	

19 令和4年度の主な活動

4. 4. 12 資料に親しむ会「明治初期の御所周辺」
4. 4. 16 企画展「明石博高一京都近代化の先駆者」開催 (～6. 5)
4. 4. 21 2階閲覧室利用状況調査 (～4. 27、11. 10～11. 16)
4. 4. 22 京都府立大学文学部欧米言語文化学科ガイダンス・閲覧受入 (10. 17)
4. 5. 10 資料に親しむ会「大蔵経(一切経)に親しむ～仏教典籍の集大成～」
4. 5. 14 陽明文庫講座開催 (4. 2. 5予定延期分)
4. 5. 18 京都を学ぶセミナー「伏見編」第1回開催
4. 6. 7 資料に親しむ会「資料でたどる京都買い物案内」
4. 6. 16 図書館司書専門講座派遣 (～6/29)
4. 6. 18 京都橘大学見学受入

- 4. 6. 19 ポーイスカウト京都第23団利用受入
- 4. 7. 11 京都大学大学院教育学研究科見学受入
- 4. 7. 12 資料に親しむ会「大蔵経（一切経）に親しむ第2話～近代以降の大蔵経～」
- 4. 7. 16 展示京都府ミュージアムフォーラム「あやしい・・京都」開催（～9.11）
- 4. 7. 20 京都を学ぶセミナー「伏見編」第2回開催
- 4. 7. 21 京都府立大学環境デザイン学科「建築設備学2」授業見学受入
- 4. 8. 9 寺子屋講座「歴彩館でボードゲームを楽しもう！」
- 4. 8. 23 京都を学ぶセミナー「伏見編」第3回開催
- 4. 8. 30 図書館実習生受入（龍谷大学）（～9.2）
- 4. 9. 6 資料に親しむ会「東寺百合文書に親しむ～第15巻収録文書から～」
- 4. 9. 7 日本名作映画上映会開催
- 4. 9. 12 蔵書整理期間のため2階休館（～9.16）
- 4. 9. 17 展示「中井貞次と井隼慶人」開催（～11.6）
- 4. 9. 「宇治の文化資源」共同研究会の報告書作成
- 4. 10. 7 京都府立大学環境デザイン学科授業見学対応
- 4. 10. 11 資料に親しむ会「みなとオアシス登録記念 川の港・伏見港、半世紀前の姿
京都府行政文書「伏見港公園水泳場公開一件」より」
- 4. 10. 12 京都を学ぶセミナー「伏見編」第4回開催
- 4. 10. 25 兵庫県立八鹿高等学校施設訪問対応
- 4. 11. 1 資料に親しむ会「軍記物語を読む－検非違使のすがた－」
- 4. 11. 2 京都を学ぶセミナー「伏見編」第5回開催
- 4. 11. 18 京都府立鴨沂高等学校の京都文化コースとの連携授業を実施
- 4. 12. 7 日本名作映画上映会開催
- 4. 12. 10 第3回 国際研究集会「御所（宮殿）・邸宅造営関係資料の地脈と新天地」開催
- 4. 12. 13 資料に親しむ会「香への誘い～香りから古に思いを馳せて～」
- 4. 12. 17 展示「第五回府大生∞歴彩館コラボで探る京都学」開催（～5.1.8）
- 5. 1. 10 資料に親しむ会「絵双六に親しむ」
- 5. 1. 12 京都ノートルダム女子大学見学受入
- 5. 1. 14 京都精華大学見学受入
- 5. 1. 14 展示「いけばなを極める－宮本溪雄旧蔵コレクション展」開催（～3.5）
- 5. 1. 20 京都府立大学文学部歴史学科「古文書史料演習」見学受入
- 5. 1. 21 京都府立大学文学部歴史学科「日本古文書史料演習II」授業受入
- 5. 2. 1 立命館大学資料見学受入
- 5. 2. 4 陽明文庫講座開催
- 5. 2. 14 資料に親しむ会「大正・昭和初期の流行図案に親しむ」
- 5. 3. 7 京都を学ぶセミナー「伏見編」第6回開催
- 5. 3. 14 資料に親しむ会「蔵書印に親しむ」
- 5. 3. 24 『京都学・歴彩館紀要 vol. 6』発刊
- 5. 3. 25 『京都を学ぶ【宇治編】』刊行

20 沿革

【(旧)総合資料館】

- 昭和 34. 34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号）
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙げる。翌 16 日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係）
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3 部 9 課）
39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3 部 1 室 9 課）
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』（明治 18 年～昭和 44 年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の 3 部 1 室 5 課）
45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2 階展示室）を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第 2 収蔵庫完成（鉄筋コンクリート 2 階建 延 274. 76 m²）
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊

- 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
- 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡）
- 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
- 48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
- 49. 4 有形民俗資料調査を開始
- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
- 60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書のコピー業務を開始

- 61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の見覧利用サービスを開始
- 62. 5. 12 「古文書相談」を開始
- 63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和 63 年 10 月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和 63 年条例第 3 号）を制定公布
- 63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の 3 課 2 係）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第 1 回「文化講座」を開催
- 2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
- 3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
- 4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5. 4. 1 定例休館日を毎月 20 日から毎月第 2 水曜日に変更
- 5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5. 11. 7 開館 30 周年記念事業「北山まつり」を開催
- 6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
- 10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10. 12 見覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11. 4 京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
- 12. 4 京都府 20 世紀資料整理事業を開始
- 12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
- 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される

- 13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
- 14. 7. 19 ホームページを開設
- 14. 11. 26 「古文書解読講座」を開始
- 14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
- 15. 11. 15 開館40周年を迎える
- 16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ－」の公開開始
- 19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
- 21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
- 21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
- 21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」
～11. 26 を開催
- 22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
- 23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
- 23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
- 23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
- 23. 11. 16 新資料館設計協議結果展
～22
- 24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究（ACTR）を開始
- 24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
- 24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定

- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館 50 周年を迎える
- 25. 11. 16 開館 50 周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 8. 1 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究の開始
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館（仮称）棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 1. 27 「京都を学ぶセミナー」を開始
- 29. 2 公益財団法人 陽明文庫所蔵資料のデジタル画像の収集及び館内公開に関する覚書締結
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
陽明文庫デジタル画像閲覧を開始
- 29. 7～ 海外若手研究員に係る世界の主要な日本文化研究機関との連携及び覚書締結開始（平 29 年度中に計 7（海外 4・国内 3）機関と締結）
- 29. 7. 6 「京都学ラウンジミニ講座」を開始
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への京都府立大学文学部移転
- 29. 12. 6 「古文書ヨル学会－入門編－」を開始
- 29. 12. 12 「資料に親しむ会」を開始
- 30. 1. 9 海外若手研究員 受入開始
- 30. 2. 16 「海外若手研究員による府民向けセミナー」を開始
- 30. 5. 25 「京都の出版社に聞く」を開始

- 30.10.1 京都学ラウンジ倶楽部の発足
- 30.11.10 「陽明文庫講座」を開始
- 30.12.4 独立行政法人国際交流基金京都支部と共催の日本名作映画上映会を開始
- 31.3.23 京都府文化賞受賞記念の公演等開始
- 31.4.1 人間文化研究機構総合地球環境学研究所との学術交流・協力に関する基本協定書の締結
- 令和元.6.1 府民協働連続講座開始
 - 2.4.1 一部指定管理者制度を導入
 - 2.4.1 北山プロムナード供用開始
 - 2.8.24 文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関として指定される【登録機関の名称：京都府立京都学・歴彩館（京都学推進課）】
 - 3.5.13 賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開の覚書締結
 - 4.4.1 ほっとスペース リニューアルオープン

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（令和5年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	※ 18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
	ユネスコ 「世界の記憶」 (平27.10.10 登録)			
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟禪文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同范鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18,705点のうち、国宝が18,646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。

京都府立京都学・歴彩館資料収集方針

令和2年4月1日

京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため、以下の収集方針を定める。

収集した資料は、適切な保存環境のもとで永年保存し、後世に伝える。また、収集した資料を利用に供し、デジタル化をはじめとする媒体変換等の手段を講じる。

なお、行政文書の移管又は引渡しなどは、別の規程等による。

1 図書資料等収集方針

1 基本方針

京都に関する専門図書館機能を十分に発揮するために必要な資料を収集する。資料の収集は、購入及び寄贈等による。非市販資料も対象とする。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

① 京都に関する資料

- ア 現在の京都府の行政区域内に関する内容を含む資料を網羅的に収集する。
- イ 「京都府文書の保管、保存等に関する規程」に基づき当館に送付される資料をはじめとする京都府が発行する資料を収集する。
- ウ 京都府内の自治体が発行する資料を収集する。
- エ 京都府内の団体や個人が発行する資料について、収集に努める。

② 京都に関する調査研究に必要な資料

- ア 京都の位置づけを理解するために必要な資料を収集する。
- イ 所蔵する図書資料・古典籍・古文書・公文書等について理解するために必要な資料及び館の運営に必要な資料を選択的に収集する。
- ウ 古典籍は、資料の来歴も考慮して選択的に収集する。
- エ 収集にあたっては、京都府立大学附属図書館及び京都府立図書館蔵書に留意する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

- ア 図書
- イ 雑誌・新聞及びフリーペーパー
- ウ 近世以前の古典籍、漢籍等の古書
- エ その他必要な資料

II 古文書収集方針

1 基本方針

地域の記憶となる京都に関する歴史資料を収集する。原本の受入は寄附・購入を基本とする。寄託は原則受けない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

- ア 幕府・藩・公家・寺社等の領主、大庄屋等の文書、仲々間（同業組合）文書、組合・会社文書等、広範な地域・組織に関わる文書を収集する。
- イ 町文書・村文書など市町村が収集した方が適当と思われる資料は市町村と調整する。
- ウ 個人的な資料（私的書状・書類・日記等）は基本的に収集対象としないが、京都の歴史に関わると評価できる場合は収集する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

原本の受入だけでなく、複製物（画像・写真等）での収集を行う。

III 写真資料等収集方針

1 基本方針

京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料を収集する。芸術性を追求した作家の作品は収集しない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

- ア 京都の社寺・名所・祭礼・風俗・街並み・建物・風景・人物・事件等を撮影したもので、京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料
- イ 日本の歴史的な風景・資料等で特に記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

希少性が高いガラス乾板を中心として収集する。

業 務 概 要

—令和4年度のまとめ—

発 行 日 令和5年9月

編集・発行 京都府立京都学・歴彩館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-29

電 話 075-723-4831

F A X 075-791-9466

H P <http://www.pref.kyoto.jp/rekisaikan/index.html>

E-mail rekisaikan-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

